

青森県ロジスティクス戦略レポートについて

1. 青森県ロジスティクス戦略レポートとは

東日本大震災からの創造的復興に向け、また本県から日本全体を牽引するチャレンジとして、物流（ロジスティクス）を切口とした新たな経済成長のシナリオを、ワーキングレポートとして取りまとめたもの。

2. レポートの特徴

本県の強みである第一次産業を中心に、単なる輸送手段としての物流ではなく、材料の調達・生産から、製造、加工、流通、小売、消費に至るまでの一貫したモノの流れ全体を最適化するロジスティクス構築の視点で検討を行い、短期、中期、長期それぞれに目標を掲げ、産業力の強化と物流機能の強化を表裏一体で進めるロードマップを提示した。

- ・ 短期目標 青森県の強みを生かした産業の足腰強化と県内物流機能の強化
- ・ 中期目標 北日本における物流拠点化と県内・北東北産業の流通拡大
- ・ 長期目標 北東アジアのゲートウェイとしてのグローバル物流拠点化

3. 取りまとめの経緯

- ・ 平成 23 年 12 月 青森県復興ビジョンにおいて、創造的復興に向けた中長期的な取組の方向性の一つとして、「北東北の物流拠点機能の強化」を位置付けた。
- ・ 平成 24 年 3 月 復興調整費（東日本大震災復興推進事業費補助金）を活用し「物流ロジスティクス構築調査事業」に着手。
- ・ 平成 24 年 7 月 庁内ワーキングチーム（座長：佐々木副知事）を設置。
 - ▶ ロジスティクスフォーラムや連続セミナー（4回）の開催、県内外の関係企業からインタビュー調査、アンケート調査を行い、これらを参考にしつつ、計6回にわたるワーキングで検討。
- ・ 平成 25 年 3 月 8 日 第 37 回復興対策本部会議にて公表

4. 今後の予定（平成 25 年度）

- 短期、中期、長期にわたるロードマップ等についての有識者を交えた調査・研究。
 - ①ロジスティクス戦略調査 10,000 千円（生活再建・産業復興局）
- 具体的な物流課題に関する検証。
 - ②八戸港の利便性向上による貨物集積の検討 5,000 千円（港湾空港課）
 - ③県内物流（陸送）課題の把握と改善 5,000 千円（道路課）
 - ④水産業における流通課題の改善 5,000 千円（総合販売戦略課）